

救 急 部

部長・助教授 龍村俊樹

◆ 著 書

- 1) 龍村俊樹：救急医療の歩み。「救急医療の臨床—改訂版—」龍村俊樹編著，21-29，医薬ジャーナル社，大阪，1996.
- 2) 龍村俊樹，片山 喬，辻 陽雄：当救急部における救急患者診療の実態。「救急医療の臨床—改訂版—」龍村俊樹編著，45-52，医薬ジャーナル社，大阪，1996.
- 3) 龍村俊樹：気道確保とその方法。「救急医療の臨床—改訂版—」龍村俊樹編著，53-58，医薬ジャーナル社，大阪，1996.
- 4) 龍村俊樹：心マッサージ。「救急医療の臨床—改訂版—」龍村俊樹編著，71-75，医薬ジャーナル社，大阪，1996.
- 5) 龍村俊樹：薬物療法。「救急医療の臨床—改訂版—」龍村俊樹編著，76-80，医薬ジャーナル社，大阪，1996.
- 6) 龍村俊樹：開胸心マッサージ。「救急医療の臨床—改訂版—」龍村俊樹編著，97-99，医薬ジャーナル社，大阪，1996.
- 7) 龍村俊樹：急性異物気道閉塞とその緊急対策。「救急医療の臨床—改訂版—」龍村俊樹編著，111-116，医薬ジャーナル社，大阪，1996.
- 8) 龍村俊樹，辻本 優：喀血。「救急医療の臨床—改訂版—」龍村俊樹編著，228-232，医薬ジャーナル社，大阪，1996.
- 9) 藤倉信一郎，龍村俊樹：吐血・下血。「救急医療の臨床—改訂版—」龍村俊樹編著，233-236，医薬ジャーナル社，大阪，1996.
- 10) 堀越 勇，龍村俊樹：「救急医療の臨床—改訂版—」龍村俊樹編著，257-267，医薬ジャーナル社，大阪，1996.
- 11) 龍村俊樹，高久 晃，鏡森定信：脳死。「救急医療の臨床—改訂版—」龍村俊樹編著，286-290，医薬ジャーナル社，大阪，1996.
- 12) 二谷立介，龍村俊樹：胸部外傷の画像診断。「救急医療の臨床—改訂版—」龍村俊樹編著，329-335，医薬ジャーナル社，大阪，1996.
- 13) 龍村俊樹：肺損傷。「救急医療の臨床—改訂版—」龍村俊樹編著，336-345，医薬ジャーナル社，大阪，1996.
- 14) 龍村俊樹，辻本 優：気胸。「救急医療の臨床—改訂版—」龍村俊樹編著，390-395，医薬ジャーナ

ル社，大阪，1996.

- 15) 龍村俊樹：肺膿瘍。「救急医療の臨床—改訂版—」龍村俊樹編著，404-410，医薬ジャーナル社，大阪，1996.
- 16) 佐藤博文，龍村俊樹：腸閉塞。「救急医療の臨床—改訂版—」龍村俊樹編著，520-525，医薬ジャーナル社，大阪，1996.
- 17) 佐藤博文，龍村俊樹：消化管穿孔。「救急医療の臨床—改訂版—」龍村俊樹編著，526-531，医薬ジャーナル社，大阪，1996.
- 18) 森 明弘，龍村俊樹：胃アニサキス。「救急医療の臨床—改訂版—」龍村俊樹編著，549-554，医薬ジャーナル社，大阪，1996.
- 19) 森 明弘，龍村俊樹，佐藤博文：消化管出血における内視鏡診断と治療の臨床。「救急医療の臨床—改訂版—」龍村俊樹編著，599-605，医薬ジャーナル社，大阪，1996.
- 20) 龍村俊樹，高久 晃：脳疾患と高気圧酸素療法。「救急医療の臨床—改訂版—」龍村俊樹編著，870-874，医薬ジャーナル社，大阪，1996.
- 21) 龍村俊樹，辻 陽雄：脊髄損傷と高気圧酸素療法。「救急医療の臨床—改訂版—」龍村俊樹編著，875-879，医薬ジャーナル社，大阪，1996.
- 22) 龍村俊樹：高気圧酸素療法と心電図。「救急医療の臨床—改訂版—」龍村俊樹編著，896-899，医薬ジャーナル社，大阪，1996.

◆ 原 著

その他 <Letter>

- 1) Shigeru Sokejima, Sadanobu Kagamimori, and Toshiki Tatsumura : Electric power consumption and leukaemia death rate in Japan. Lancet, 348 : 821-822, 1996.

◆ 学会報告

- 1) 龍村俊樹，小山信二，辻本 優，山口敏之，美濃一博，笠島 学，三崎拓郎，北川正信，佐藤博文：胸壁再建術の経験。第13回日本呼吸器外科学会総会，1996，5，仙台。
- 2) 龍村俊樹，山口敏之，杉山茂樹，小山信二，池谷朋彦，美濃一博，三崎拓郎：甲状腺癌例の喉頭全摘，永久気管支瘻造設の1例。第13回日本呼吸器外科学会総会，1996，5，仙台。（ビデオ）
- 3) 龍村俊樹，津田基晴，山口敏之，杉山茂樹：前胸部永久気管支瘻造設の1例。第19回日本気管支学会総会，1996，5，東京。（ビデオ）
- 4) 龍村俊樹，小山信二，山口敏之，辻本 優：肺癌隣接臓器合併切除の必要性の検討。第21回日本外科系連合学会学術集会，1996，6，東京。（シン

ポジウム)

- 5) 龍村俊樹, 山口敏之, 辻本 優, 小山信二, 東出慎治, 美濃一博, 杉山茂樹, 三崎拓郎: 転移性肺腫瘍外科治療成績の検討. 第21回日本外科系連合学会学術集会, 1996, 6, 東京. (ワークショップ)
- 6) 龍村俊樹, 森 明弘, 佐藤博文, 鈴木 衛, 笠島茂, 孫 傑, 鏡森定信: 鈍的胸部外傷の検討. 第24回日本救急医学会総会, 1996, 10, 横浜.
- 7) 龍村俊樹, 津田基晴, 山口敏之, 杉山茂樹, 小山信二, 美濃一博, 三崎拓郎: 胸骨柄永久気管支瘻造設術の1例. 第58回日本臨床外科医学会総会, 1996, 10, 京都. (ビデオ)

輸 血 部

部 長 (併任)	渡 邊 明 治
副 部 長	樋 口 清 博
主任臨床検査技師	西 野 主 眞
臨床検査技師	道 野 淳 子
臨床検査技師	多葉田 祥 代

◆ 著 書

- 1) 樋口清博, 渡辺明治: 劇症肝炎. 「改訂版 救急医療の臨床」龍村俊樹編著, 582-588, 医薬ジャーナル社, 大阪, 1996.
- 2) 康山俊学, 樋口清博, 渡辺明治: 肝性昏睡. 「改訂版 救急医療の臨床」龍村俊樹編著, 589-598, 医薬ジャーナル社, 大阪, 1996.
- 3) 樋口清博: 食中毒. 「改訂版 救急医療の臨床」龍村俊樹編著, 819-825, 医薬ジャーナル社, 大阪, 1996.
- 4) 清水幸裕, 樋口清博, 渡辺明治: 治療における栄養と免疫—栄養薬理の立場から (dietary immunomodulation). 「肝疾患. 栄養免疫学」渡辺明治編, 208-215, 医歯薬出版, 東京, 1996.
- 5) 清水幸裕, 菓子井良郎, 樋口清博, 渡辺明治: PBCにおけるT cell repertoire. 「自己免疫性肝疾患—その病態と治療」西岡幹夫, 井上恭一編, 158-164, 新興医学出版社, 東京, 1996.
- 6) 安村 敏, 新敷吉成, 樋口清博, 渡辺明治: Lac Z遺伝子導入細胞を用いた肝癌転移メカニズムの解明と免疫治療. 「「肝癌再発のBiology」肝と遺伝子'96」小俣政男編, 88-100, 1996.

◆ 原 著

- 1) Hioki O., Minemura M., Shimizu Y., Kashii Y., Nishimori H., Takahara T., Higuchi K., Yoshitake Y., Nishikawa K., and Watanabe A.: Expression and localization of basic fibroblast growth factor (bFGF) in the repair process of rat liver injury. J. Hepatol., 24: 217-224, 1996.

◆ 症例報告

- 1) 斎藤清二, 樋口清博, 渡辺明治: 生薬を含む民間漢方薬により高度の血小板減少を繰り返した1例, 診断と治療 84 Suppl.: 868, 1996.
- 2) 安村 敏, 樋口清博, 沖田英明, 愛場信康, 土田敏博, 清水幸裕, 南部修二, 高原照美, 渡辺明治, 樋本尚志, 西岡幹夫: 甲状腺機能亢進症を伴った自己免疫性肝炎IIaの1例. Minophagen Med. Rev. 41: 229-34, 1996.
- 3) 北啓一朗, 斎藤清二, 土田敏博, 清水幸裕, 南部